



こんにちは！去年の夏にみんなと一緒に防災教室をやった大木聖子先生だよ。覚えているかな？
6月18日の夜に鶴岡市で大きな地震があったね。みんなは地震があった時、何をしていたかな？
夜だったから、もう寝ていた子もいたかもしれないね。びっくりして起きた子もいたかな。
あの地震はなんだったんだろう？ また起きるの？ これからどうやってそなえればいいの？
そんな疑問に答えるおたよりを先生たちみんなで作ったよ。家族やお友達と一緒に読んでね。

クイズ：地震の犯人はだれだ！？

大木先生から問題です！地震の正体はなんだろう？知っているかな？

1. 地面がゆれること
2. 地下で岩がわれること
3. ナマズがあばれること

正解は2と3です。

大木先生の解説：

地震の犯人が「地下で岩が割れること」だとわかったね。実は日本はものすごく強い力で押されているのです！何年も何十年も押されていたら、だんだんたえられなくなって、いつかバリバリッと割れてしまいます。その、岩がわれたときの揺れが地震なのです。

地震を予知することはできる！？



のぶくん

地震の正体は分かったけど、そもそも地震を予知することはできないの？

のぶくん、いい質問ね。残念だけど、今の科学では、いつ・どこで・どんな地震が起きるかを正確に予測することは難しいの。



先生



えっ…。予知ができないなら、どうやって対策したらいいんだろう？

予知ができなくても、備蓄を用意したり、家具の固定をすることは必要よ。このおたよりの2枚目で一緒に確認してみましょう。



家具を留めよう



家具の固定ってどうやったらいいの？なんだか難しそう…。

下の図を見てみて。家具を留める道具はホームセンターなどに売ってるのよ。

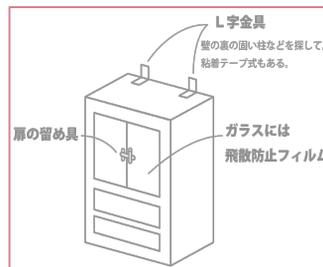


壁に穴を開けなくても固定できるんだ…！

つっぱり棒とストッパーを組み合わせると、L字金具と
同じぐらいの効果が出るのよ。



お家の人と一緒にやってみてね。
留め具が緩んでいないか確認するのも大切よ。



持出し袋の準備をしよう



「コンビニやスーパーにも食料品がなく、おなかが減った。
避難所に行けば何かあると思ったのに…」

【出典】
2016年4月18日朝日新聞デジタル
『おにぎり1時間並んだ 救援物資、避難所に届かず』

過去に大きな地震で被災したおばあさんの言葉です。地震が起きて避難したとき、食料などの支援物資を必ずもらえるとは限りません。もしももらえたとしても、それが自分にとって必要なものか、自分に合っているものであるかはわかりません。もしものためのために、2泊3日のキャンプをするつもりで自分だけのリュックをつくりましょう。これだけは絶対に入れておこう！というものを紹介しておきます。





だんごむし特別号

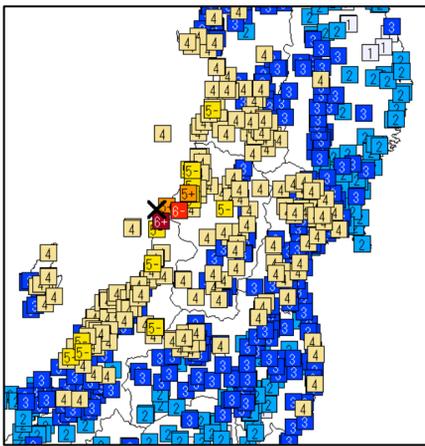
発行元：慶應義塾大学防災社会デザイン研究室
監修：慶應義塾大学環境情報学部准教授 大木聖子
発行日：2019年8月19日

ここに、山形県沖地震の詳細を載せているよ。難しいところは大人と一緒に読んでみてね。

山形県沖地震の基本的な情報：

- 時間：2019年6月18日22時22分
- 規模：マグニチュード6.7
- 場所：山形県沖（鶴岡市の西側の海の地下14kmの深さのところ）
- 震度：新潟県村上市で震度6強、山形県鶴岡市で震度6弱（東京でも震度2を観測）
- 津波：鶴岡市で11cm、酒田市で5cm

各地の震度



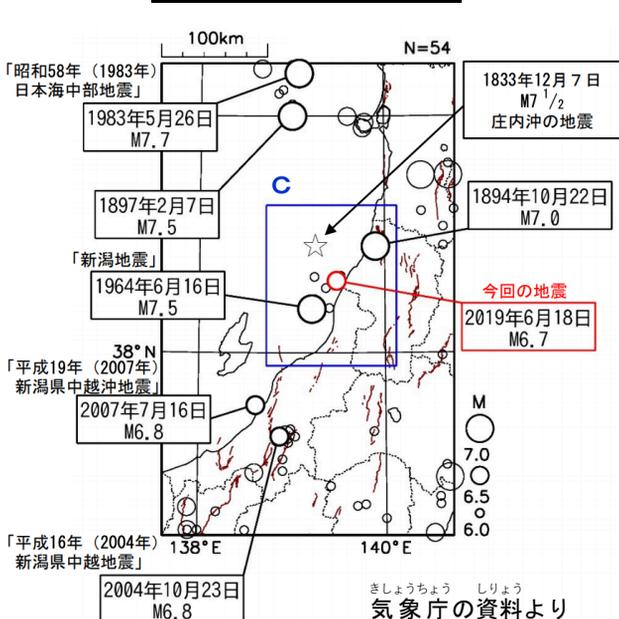
気象庁の資料より

被害状況

都道府県	市町村	人的被害		住家被害		非住家被害		
		死者 人	行方不明者 人	全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	公共建物 棟	その他 棟
宮城県	仙台市			1				
	塩竈市			1				
	栗原市			1				
	大崎市			2				
	小計			5				
秋田県	湯沢市			1				
	由利本荘市							1
	にかほ市					1		
	鷹巣町			1				1
山形県	鶴岡市	1	17		11	658		
	酒田市	1	3					
	新庄市		2					
	高森町		1					
	川西町		1					
	三川町		1					
	遊佐町		1					
小計	3	25		11	658			
新潟県	新潟市			1				
	長岡市					8		
	柏崎市			1		2		
	見附市		1					
	村上市		2	1	25	577		
	燕市		1					
小計	4	3		25	588			
石川県	七尾市		1					
	小計		1					
合計		9	34		36	1,245		1

総務省消防庁の資料より

この地域で過去に起きた地震



1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生しています。このうち1964年6月16日に発生した「新潟地震」（M7.5、最大震度5）では、死者26人、負傷者447人、住家全壊1,960棟、半壊6,640棟、一部破損67,825棟の被害が生じました。また、この地震により津波が発生し、新潟県の直江津で280cm（最大全振幅）などを観測しました。他にも、1833年12月7日に庄内沖で津波を伴う地震（M7強）が発生し、死者約150人などの被害がでてしまいました。